

由来の名称 関東外にも

文人の 武蔵野

公共性のあるエリアや団体、施設には、「武蔵野」という地名を含むものが多くあります。

例えば、開業50周年を迎えた「武蔵野線」は、鶴見駅（横浜市）から西船橋駅（千葉県船橋市）を結んで山手線の外周を囲むように走る鉄道路線です。「都立武蔵野公園」は、武蔵国の国府のあった府中市にあり、現在の東京都のほぼ中央部に位置しています。また、「武蔵野市」の前身

「武蔵野」とは ②



武蔵野の原風景が残る都立武蔵野公園（府中市）

となったのは、神奈川県北多摩郡武蔵野村です。農協が営むレジャー施設「むさしの村」は、埼玉県加須市にあります。

これらの例からは、「武蔵野」の範囲の幅広さと多様性、個性、恣意性が読みとれます。さらに社名、店名、校名、商品名に目を向けると、「武蔵野」を冠した固有名が意外とたくさんあり、乱立していると言いたくなるほど好んで用いられている様子が見取れます。

それらの地理的な分布を見ると、おおむね関東一円に散在していますが、関東圏外にも武蔵野という地名を含む固有名は存在します。例えば、春日野（奈良）には、文人の宿として知られる「古都の宿 むさし野」があり、その名は、春日野の武蔵野にちなんでいいます。

「伊勢物語」の古注釈によると、春日野には武蔵塚に由来する武蔵野と呼ばれる場所があります。関東の武蔵野の由縁で春日野の武蔵塚が誕生

し、「古今集」でも歌われました。近代の文人では、会津八一が、東西の武蔵野をそれぞれ歌に詠んでいます。

このように、「武蔵野」が指し示す地理的な範囲は曖昧で、そもそも範囲の正確さを求めているようにも見えませんが、

文人たちが描いてきた文学世界の中の武蔵野のイメージは、幾つもの主観的な心象地理でした。同様に、現在の固有名の世界の中にも、縁がたなぐ幾つもの武蔵野イメージがあり、それらは、並び立って林立しているようです。（武蔵野大教授、むさし野文学館館長・土屋忍）

過去の連載は、読売新聞オンラインでお読みいただけます。スマートフォンはQRコードから。